長野環境人士

自然に優しく、暮らしを楽しく

小林光さん対談企画

渡り(御渡り)。全面結氷した湖上に筋がで 神が通ったとしか考えられない―と。 して人々の目に映ったに相違ない。これは かった時代、御渡りは人知を超えた現象と いく。かつて現代ほど科学が発達していな き、厳しい冷え込みとともにせり上がって 諏訪の冬の風物詩と言えば諏訪湖の御袖

という結果がつづられ、現代に続いてい 渡りの出現、出現しなかった一明けの海 から途切れることなく、諏訪湖の結氷や御 代の和歌に登場し、室町時代の1443年 訪湖畔で観察を続けている。古くは平安時 社)は今年も1月6日の小寒から毎朝、

は、平成元年から令和3年までの33季で25 ないかというほどまれだった「明けの海」



御渡りをつかさどる八剱神社(八剱神

代について語る=諏訪市の諏訪湖畔で が「明けの海」の方が珍しくなくなった現 御渡りをつかさどる八劔神社の宮坂清宮司

化を如実に物語る。50年間に1度あるか、

その581年の歴史は冬の諏訪地方の変

ちはどう受け止めるか。 回を数えるまでになった。この変化を私た

は昔から自然と密接にかかわ だろう。 きる私たちにこそ必要な感覚 球沸騰化へと変わる時代を生 の敏感さは地球温暖化から地 然に敏感だった」と語る。 ことをよく理解していた。 異常が生活の異常につながる りながら生きてきた。 宮坂清宮司(73)は

と提案する。 司は「ごみを拾いませんか いいのか。その問いに宮坂宮 =●面に対談 (野村知秀

度り」と「明けの海」は神

かげで冬の諏訪の気候の変化をうけの海」として記録した。そのおから記録しないのではなく、「明 かがい知ることができますね。 と分かります。 できないのはかなり珍しいことだ 区切って調べていくと、 す。明けの海の回数を50年ごとに 冬寒い。そうすると、御渡りがで「明けの海」と言います。夏暑く、 きる。これは諏訪の自然の摂理で るいは御渡りが出現しないことを 切れることなく残っています。 湖の結氷や御渡り出現の記録は途 から現在までの581年間、 諏訪 となく続いていますね。これほど録が室町時代からほぼ途切れるこ 御渡りが登場します。 1443年 長い期間のデータの積み重ねは骨 宮坂 同感です。 小林 御渡りが出現しなかった 宮坂一諏訪湖が結氷しない、あ 58年間続く記録 そこから何が見えてきま 古くは平安時代の和歌に 八劔神社には御渡りの記 いにしえ人が 御渡りが の入りとともに毎朝、 宮坂 私と氏子総代は小寒、

がある影響で一部が解け、その時 らメタンガスが吹き出ている場所 と深い場所(下層)が混ざり合い、が経つと、水深の浅い場所(上層) のような点に着目して感じ取って 湖上を見つめ、水温や気温を測り 丈をはるかに超えるほどでした。 どで見られました。 風下となった下諏訪町高木地区な に強い風が吹くと、 じるようになりますよ。 ると「全面結氷が近いかも」と感 舟渡川河口(諏訪市豊田)に行き な氷の塊が幾重にも重なる光景が しても「窯穴」と呼ばれる湖底か 水温差がなくなります。ほぼ結氷 へと流されます。一昨年は大き るのでしょうか。 水温や気温の変化を見て 私もこの光景を見て驚き 渡の動きなどです。大波薄氷、氷同士がぶつかる 打ち寄せた氷は大人の背 「全面結氷」の予感はど 、氷は割れ、

と聞きましたが、何を占っている 小林 御渡りで占いをしている だった日本人 自然に敏感

季で明けの海は公回です。さすがに平成元年から令和3年までの33

50年間は22回もあります。 ちなみ

1951~2000年の

かしいぞ」と感じますよね。

離が見ても 「これはちょっとお

が、素晴らしい発想です。 どういう気持ちで「明けの海」と

明けの海は1951年か

と自体が神秘的です。

ら極端に増えますね。

書き残したのかは分かりません

宮坂(実は古い文書を見渡して 宮坂清さん 73

> もり、景色、そこに居合わせた人 観察を続けるのですか。

宮坂 朝日を迎えて感じるぬく

小林 宮司さんはなぜ御渡りの

思うこと 自然の変化に

御渡りをつかさどる八劔神 社の宮司。八劔神社をはじ め14社の宮司を務める

> す。人は自然によって生かされて のは神のなせる業だと私は信じま くご褒美です。諏訪湖を凍らせるができる、まさに自然からいただ 々が感動を覚え、人とのつながり

> > 昇を産業革命以前に比べて1・5政策によって世界の平均気温の上

ながら温暖化は今後も続きます。 とする人が多数派になれば、

いるのです。自然が自然のままで

は今後2世紀程度続くとされてい 水が熱を蓄えているので海面上昇 度以下に抑えたとしてもです。 海

動が生まれるのだと思います。 めることに感謝する。そこから行

冷気の力 全面結氷の神



かつて当たり前だった「御渡り」は今では珍しくなり、かつ て珍しかった「明けの海」が当たり前となりつつある。御渡

気付く。良いことです 訪湖の現状に関心を持ち、

小林人はきれいな場所には、

す。御渡りをきっかけに人々が諏 んか」と言い出して拾い始めま て、何かを感じ「ごみを拾いませ れ着いているに気付きます。

そして

気の力に改めて驚かされます。考水の力、それを動かす風の力、冷 えてみれば、湖が全面結氷するこ

りの観察場所で語る宮坂宮司衛と小林さん一昨年12月28日

も世界も変わるのでしょう。残念 一つになればいいなと思います。渡りが考え、行動するきっかけの れれば、ごみ拾いをしませんかと では具体的に何をすれば?と問わ 自然にいいことをしよう

クミンスター・フラーは自然の中和を説いたアメリカの思想家バッ箱で汚れます。人類と地球との調

捨てやすいのでさらに多くの人がごみを捨てにくく、汚い場所には

答えは自然の中にあり

ています。

答えは自然の中にあり、

にすべて答えがあり、それを人間

のが普通という時代を迎えるのも

守る力が高まっていくといいです 2世紀ほど先になるかもしれませ 小林 御渡りの観察を雨 なっていきます。御渡りと明けのき残していくことが地域の歴史と 残すのが大切ですね。 かった。明けの海だった」と書き めていきます。 海。 これを神の啓示として受け止 観察の大事な結果です。それを書 ん。それでも「御渡りが出現しな 宮坂はい。明けの海も御渡り 御渡りの観察を面白がり

直近で行われた御渡り拝観式=2018年2月5日

代ごろからでしょう。 が生まれたのはおそらく昭和50年 の中の動き、経済状況などの結果 その年の農作物の作柄、天候、 はありません。書いてあるのは 測し、神の教えに結び付ける発想 過去の記録を基に未来を予

小林光さん 74

元環境省環境事務次官。東京大先端

科学技術研究センター研究顧問。茅

野市行政アドバイザー(環境分野)

占いではなかったのです

小林光さん

対談

宮坂清さん

自然に優しく、

暮らしを楽しく

ね。いずれにしても日本人は自然と 与えるといった影響がみられます。 った水鳥がワカサギをたくさん食 海となれば、多くの人が不安を骨 えたであろうことは推測できます 現が当たり前だった時代に明けの しないと、カワウやカワアイサとい 宮坂 確かにそれもあります 小林 今でも冬、諏訪湖が結氷 宮坂はい。ただし、御渡りの出 諏訪湖の水産業や観光に損失を

ともに生き、自然の異常が生活に影 響することをよく理解していまし

も御渡りで占いをしたという記述

いるからなのかもしれません。か。それは人が自然から遠のいて らしに生かし、代々受け継いできーというように自然から学び、暮 えてはいませんか。自然が示す変 ました。今、湖畔にごみが落ちて 化に気付けなくなってはいません いても気にならないという人が増 那市境) に雲がかかると雨が降る は違います。守屋山(諏訪市、 気が止まればどうでしょうか。 も食べ物が手に入る。しかし、 やコンビニエンスストアでいつで 24時間営業のスーパーマーケット 便利な世の中で、情報はすぐ入る

ったと感じていますか。 しに生かす例は各地にあります。然の中で起きる現象や変化を暮ら たと思います。諏訪湖に限らず、自 訪ではそれを氷から感じ取ってい 自然に敏感だったのです。 その敏感さは今、 どうな

宮坂 失われていますね。今は

明けの海の回数 年回数 1443~1450 D 1451~1500 0 1501 ~ 1550

1501~1600 1 1601 ~ 1650 O 1651~1700 1 1701 ~ 1750 1751 ~ 1800 4 1801 ~ 1850 4 1851 ~ 1900 1901 ~ 1950

と言えそうですね。

小林 御渡りはその変化を人間

拾いません ごみを

の様子を見学に来た方々も。 見ていますとね、湖岸にごみが流宮坂 御渡りの観察で毎朝湖を に分かりやすく示してくれている

そ観察

1951~2000 2001~2023 ※11432~1450年は8年間、 2001~2023年は22年間の記録 ※1507~1514年はたった1行で「御神渡りは なかった」とあるのみ。窓辺回は戦闘時代に当 たる当時は政情が不安定で修建りどころではな